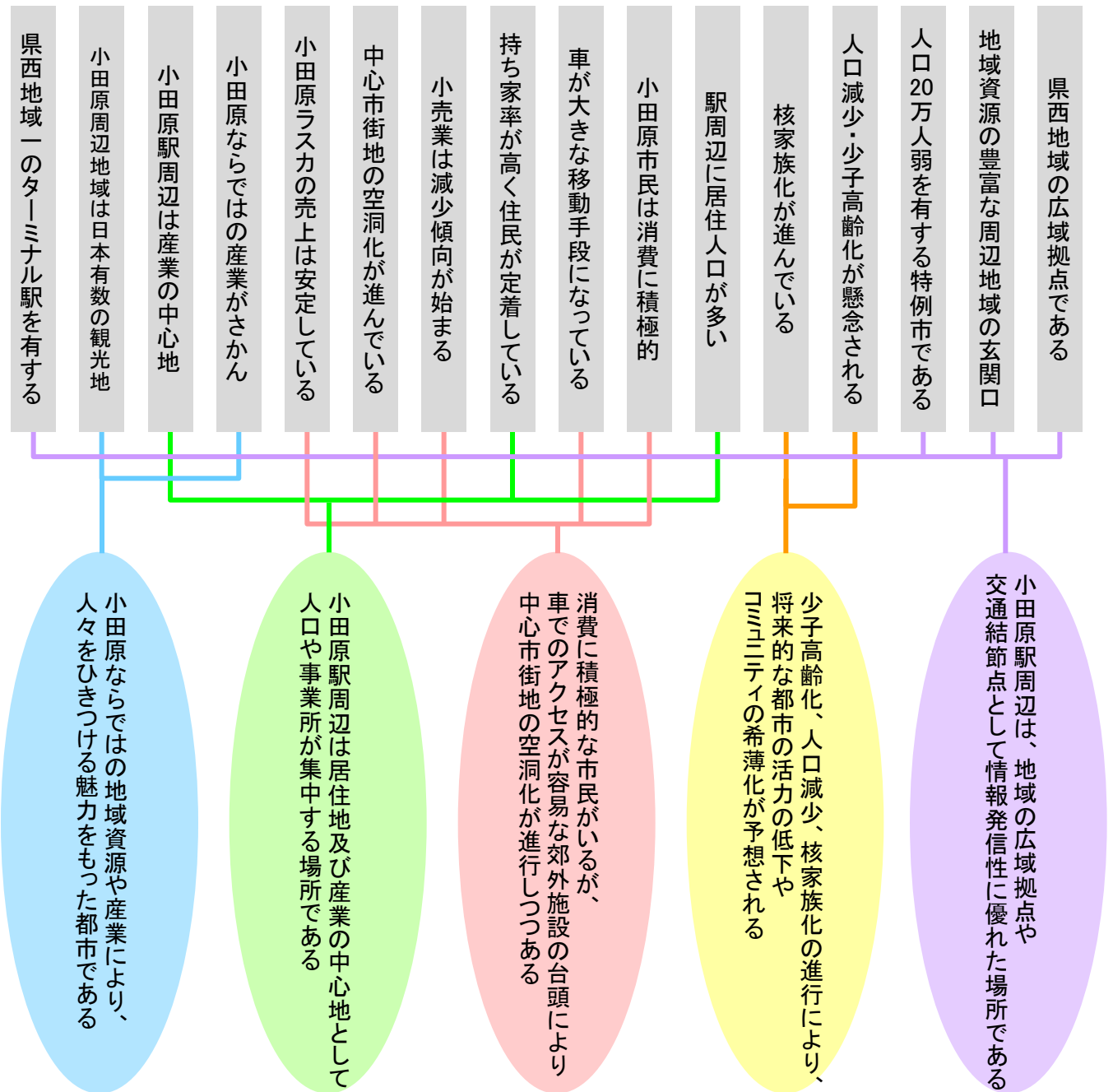


小田原市の立地特性、人口特性、公共機関の利用状況、観光特性、住民特性、商業特性、小田原ラスカの売上動向等のデータより、地下街再生計画策定に際してのマーケット調査を行った。



小田原周辺地域は年間3200万人の観光客が訪れており、日本有数の観光客数を誇る地域である。小田原駅周辺は首都圏からの交通の結節点として周辺地域の玄関口に位置する情報発信性に優れた場所である。

また、小田原市は小田原城や宿場町としての歴史だけでなく、伝統的な地場産業など魅力的な地域資源が豊富なエリアである。

周辺地域の玄関口という強みを活かし、周辺地域と連携しながら、小田原市の魅力ある地域資源を発信することで、小田原市の観光客数の拡大が期待できる。

さらに、小田原駅周辺は、昼夜間人口も近隣の都市と比較し非常に高いことからわかるとおり、居住地としてだけでなく、産業の中心地として、人口が集中しており、平日、休日共に商業のポテンシャルが高い地域であることがわかる。